

1. 対象部材  
タオル掛け（浴室用）

略称：CjK タオル掛け

2. 標準（共通）化の部位

- ・標準（共通）化の部位を図1に示す。
- ・標準化対象部位は、全長（取付ピッチ）と固定部品の取付穴径と取付ピッチである。

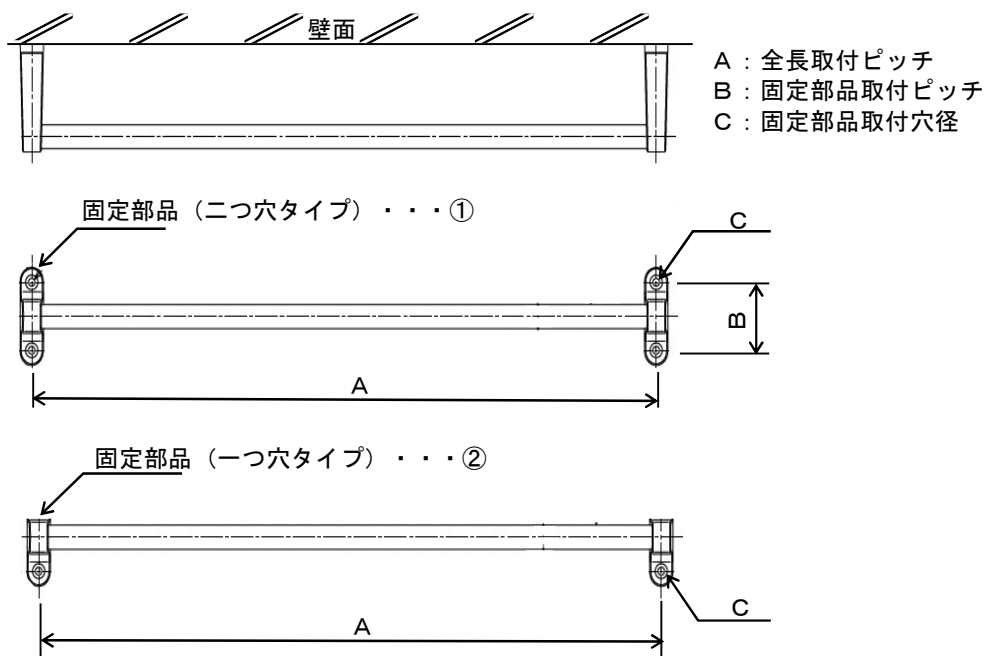


図1－標準（共通）化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法	
	①	②
A : 全長取付ピッチ	400	400
B : 固定部品取付ピッチ	36	なし
C : 固定部品取付穴径	φ4～6	φ5～10

#### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CJK”マークを表示する。

#### 5. 特記事項

##### 5.1 関連部材が具備すべき条件

・取付用の壁や補強は、タオル掛けおよび使用するねじに適用した仕様であること。

##### 5.2 その他の条件

・ねじはタオル掛けに付属しているねじを使用すること。

#### 6. 解説

タオル掛けは主にパイプと固定部品で構成される。種類は全長と固定部品の穴の数およびピッチ、ねじによって分かれる。固定部品には一つ穴と二つ穴の2種類がある。このため、標準化の対象を全長取付ピッチと固定部品取付ピッチおよび取付穴径とした。住宅での採用は全長取付ピッチ400mmがほとんどを占めておりこれを対象とした。

#### 7. 共通事項

##### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

##### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。